

話題の講義ライブ
LIVE 2012

Today's Program 比較芸術学入門

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY

青山学院大学



文学部 比較芸術学科

5.19.Sat. at Shinanomachi

14:00~16:00

浅井 和春 教授



茶道文化を通じて 日本人が育んだ美意識を知る

講義の流れ
大日本茶道学会内の茶道建築に入るほか、和室での基本的な所作の実施体験(正座、畳の上を歩く、襦の開閉等)を行う。
お茶と美術を関連付けながら茶道文化に触れることで、おもてなしの心や、人を敬う気持ち、日本人として備えておくべき心得を養う。

五感を総動員して
素直に感動する!

今年の4月に新設された青山学院大学文学部の「比較芸術学科」。日本・東洋、西洋の芸術を「美術」「音楽」「演劇映像」の3つのジャンルから、研究に取り組んでいく。担当の浅井先生は言う。「毎日が忙しく、面倒なことを避け便利なことばかりを求めてしまう現代に危機感を抱いていま、アートや音楽に触れ、学生にゆとりとした時間を味わってもらい、これまで大切に守り継がれてきた芸術を五感で感じたうえで受け止めてもらいたいですね」

不透明で混沌とした時代だからこそ、人間の感性がもつとも「確かな」カタチやメロディ、動きなどで表現される芸術に注目したい。今大学で伝統的、古典的芸術をしっかりと学ぶことは、古くからの自然や人間、社会等の在り様を具体的に知ることであり、今後の国際社会での立ち位置や役割を見極める着実な方法だと考えるのだという。心から感じ感動することで、人間の回復にもつながる。机上の空論で終わらせないのが、本学科の一つの特長だ。年に合計6回キャンパスを飛び出して、美術・音楽・演劇映像の各芸術の「本物」に会いに行く学外授業を企画している(下記参照)。本日は第3回目の学外授業を、大日本茶道学会にて、和室の基本的な所作や茶道の文化や心得を学ぶ。

不透明で混沌とした時代だからこそ、人間の感性がもつとも「確かな」カタチやメロディ、動きなどで表現される芸術に注目したい。今大学で伝統的、古典的芸術をしっかりと学ぶことは、古くからの自然や人間、社会等の在り様を具体的に知ることであり、今後の国際社会での立ち位置や役割を見極める着実な方法だと考えるのだという。心から感じ感動することで、人間の回復にもつながる。机上の空論で終わらせないのが、本学科の一つの特長だ。年に合計6回キャンパスを飛び出して、美術・音楽・演劇映像の各芸術の「本物」に会いに行く学外授業を企画している(下記参照)。本日は第3回目の学外授業を、大日本茶道学会にて、和室の基本的な所作や茶道の文化や心得を学ぶ。



掛け軸はどう見るのか
襦は、どう開けるのか

畳の部屋に学生約20人が揃ったところで、実習を開始。掛け軸の前に立つのは、大日本茶道学会副会長の田中仙堂さん。「実は、掛け軸の高さは、畳に正座した低い視線から見ると、丁度よい位置にかけられています。通常美術館では、立ったままショーケースの日本の美術品を鑑賞するので、西洋美術との違いがわかりにくい。しかし視線をぐっと下げるだけで、作品本来の魅力が伝わってくる。」

別室に移動し、次は「手水」の体験だ。「手水」とは、相手のおもてなしを身も心も清めて受け止める日本人の心構えを象徴する、茶道の所作だ。手を洗い、口を濯ぎ、また手を洗う動作を、学生一人ひとりに繰り返し伝授する。学生たちがとりわけ驚いたのは、上座下座の話だった。「入口に近い方が、下座です。目上の方が同席している場合は、家の主がどうぞと言った場合を除き、気をつけて席を選んでください」と指導される。続けて襦の開閉のレッスンは始まった。「ここでも大切なのは、視線です。仮に立ったまま開けて、対面するお客様が座っていたら上からの視線になってしまうのですから、襦の開閉は膝をついた体勢で行いましょう。取っ手に手をやり少し開けてから、今度は手をかえ、さらに空間を開いていくという一連の流れを、学生全員が体験した。



大陸の異文化が混ざり合って完成した日本の茶道

慣れない所作の連続で少し疲れが見え始めたところで、お菓子をいただく所作を習う。一枚の器に複数人数分和菓子も入れられ、懐紙を皿代わりにして取り分ける。うっかり粗相しないようにと、ピリッ緊張ムードの空気が流れた瞬間であった。その後、いよいよ、茶のおもてなしを受けることになった。室内や庭もふくめた鑑賞体験のクライマックスが、一服の茶になるように構成されている。おもてなしを、茶の湯(茶事)というのだそう。

中国からきたもので、器は朝鮮半島で焼かれたものを使っていた。つまり、茶道はいろいろな異国文化が入り混じってきた独特の総合芸術なのです。「茶道家の解説を受けながら、器をくぐる」と回しゆつたりとお茶を口にふくむ学生たちの背筋が、幾分かピンと伸びているように見える。体験講座を終え、浅井先生が学生に問う。「みなさん、どうでしたか?」瞬時に返ってきたのは、「初めての体験ばかりで、本当に楽しかったです」という感謝の言葉だった。



VOICES 学生の声 of University Students



中嶋 悠喜さん(後列左)
文学部 比較芸術学科1年
日本舞踊の経験があるので、昔から日本文化には慣れ親しんでいた方だと思いますが、今日学んだことは知っておいて得する情報ばかり。日本文化と向き合う良い機会でした。

吉原 宙歩さん(後列右)
文学部 比較芸術学科1年
講義の中で特に印象的だったのは、襦の開閉です。また、上座下座の知識は大変ためになりました。現在弓道部に所属しているので、先輩と食事に行った際には失礼のないよう意識して行動したいと思います。

金井 真由さん(前列左)
文学部 比較芸術学科1年
厳肅な雰囲気は少し緊張しましたが、お辞儀の仕方などすぐに役立つ所作が学べ、有意義な時間が過ごせました。和菓子の贅沢な甘さと、後にいただいたお抹茶のほろ苦さが、たまらなく美味しかったです。

横川 奈緒子さん(前列右)
文学部 比較芸術学科1年
畳の縁を踏んではいけないことなど、和の世界には自分の知らない基本ルールがたくさんあり驚きました。所作をしっかりと学ぶことで、人間力向上にも期待できるのではないかと思います。

青山学院大学

資料の請求およびお問い合わせ先
URL <http://www.aoyama.ac.jp/>
青山学院大学 広報入試センター
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL 03-3409-8626

- 文学部
- 教育人間科学部
- 経済学部
- 法学部
- 経営学部
- 国際政治経済学部
- 総合文化政策学部
- 理工学部
- 社会情報学部

【オープンキャンパス】事前申込制

事前申込の方法は、本学ホームページをご覧ください。

青山キャンパス
日時:7月15日(日)10:00~16:00
対象学部
経済学部・法学部・経営学部・国際政治経済学部(大学院同時開催)
日時:7月16日(月・祝)10:00~16:00
対象学部
文学部・教育人間科学部・総合文化政策学部
日時:8月24日(金)10:00~16:00
対象学部
文学部・教育人間科学部・国際政治経済学部・理工学部
日時:8月25日(土)10:00~16:00
対象学部
経済学部・法学部・経営学部・総合文化政策学部・社会情報学部

相模原キャンパス
日時:7月22日(日)10:00~16:00
対象学部:理工学部(大学院含む)・社会情報学部

学部・学科により企画内容は異なります。また、日時・開催内容は諸般の事情により変更になる場合がございますので、随時本学ホームページでご確認ください。



◀青山キャンパス

比較芸術学入門 体験授業 2012年度スケジュール(予定)

- 4月 ●東京国立博物館見学
●「華のん」企画公演・チェーホフ「賭け」観劇(池袋・あうるすぽっと)
- 5月 ●茶道文化体験(大日本茶道学会)
●劇団「昴」による演技ワークショップ(青山学院大学相模原キャンパス)
- 6月 ●「版画の冒険」展見学(町田市立国際版画美術館)
- 10月 ●BCJ(バッハ・コレギウム・ジャパン)レクチャーコンサート メンデルスゾーン(パウルス)(青山学院講堂)
- 12月 ●文楽鑑賞教室観劇(国立劇場小劇場)
●日本フィルハーモニー交響楽団12月定期公演(サントリーホール)